

# 東京都個人タクシー協会

## 会報

乗って安心個人タクシー

平成23年  
4月号



【3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます】

### 困難な状況打開に向けて、 意見交換会を開催

3月4日（金）の午後2時から（社）全国個人タクシー協会関東支部で、同支部主催による「平成22年度 行政との意見交換会」を開催。関東運輸局から小林自動車交通部長をはじめ、局各支局の担当者20名にご出席いただき、意見交換が行われました。

#### 自助努力による構造改革を

（社）全国個人タクシー協会 関東支部  
木村忠義支部長



特定事業計画の実施については、行政の皆様には大変歯がゆい思いをさせており、申し訳ありません。こういうときこそ、傘下事業者の方々に目覚めていただくため、私達が求心力を持つて皆さんを引っ張っていかねければならないと思っています。

そして大事なことは、まず業界の自助努力によって構造改革を目指す事です。それが出来なければ、恐らく私たちは本当に見捨てられてしまうでしょう。問題が山積している中、私達はとにかく前へ進むしかありません。今日は、私達がさらに前進するためのご意見・ご指導をいただきたいと願っております。

#### 危機感と意識の共有が大切

関東運輸局自動車交通部  
小林 豊部長



個人タクシー業界からほぼ100%の事業者が特定事業計画を

期限原則1年間、人件費等の毎月報告書等が課せられたが、既に当該地区で既存事業者が認可済の同一内容であれば、不当な差別的扱い等に触れる事にならないので、「個別審査」から除外して自動認可扱いとされたい。

#### 4. 期限更新について

（2）死亡後譲渡制度の復活  
死亡により、事業廃止を余儀なくされたご家族の生活を助けるために、過去に制度化されていた「死亡後譲渡」を復活させたい。

#### 3. 試験制度について

（1）事前試験による合格証取得制度の創設  
現行、許認可申請毎にそれぞれ法令・地理試験を実施しているが、資格要件を有している者に対して、事前試験による合格証（申請の有資格者）をあらかじめ取得し、その者の一定期間において許認可申請ができる制度を創設されたい。これにより、譲渡譲受の促進が図れる事となる。

#### 関東支部からの 意見・要望（要約）

##### 1. 新規許可の一定枠確保について

○タクシー新法の特定地域における新規許可の一定枠の確保

##### 2. 譲渡譲受について

（1）譲渡人の年齢制限の撤廃  
タクシー新法の特定地域における高齢者等の譲渡促進を容易にするため、特定地域指定期間内は譲渡年齢の制限を撤廃されたい。

##### （3）遠距離割引認可申請に係る「個別審査」からの除外

特措法の施行によって、遠距離割引に係る認可申請は「個別審査」となり、原価計算書の添付や認可

#### 5. 適正化対策について

個人タクシー適正化対策に係る事案通報の規程では、「1年以内」に2回の是正指導を受けた者としておりませんが、これを「2年以内」に2回の是正指導を受けた者として改めるべく鋭意ご検討いただいておりますが、適正化対策の強化を図る上で早期実施をされたい。

都内個人タクシーの現況（平成23年3月1日現在）

許可事業者数	16,853名	（前月比-45名）
（特別区、武三）	16,372名	北多摩188名 南多摩293名
傘下事業者数	16,665名	（前月比-38名）
（特別区、武三）	16,186名	北多摩188名 南多摩291名

# 個人タクシー事業者の健康管理状況等調査報告書

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

## 1. 健康診断受診状況【事業者】

○個人タクシー事業者数 16,748名

○健康診断受診事業者数

(1) 団体主催の健康診断受診者数	平成22年	平成21年
	13,710名 (81.9%)	(80.9%)
(2) 上記以外の健康診断受診者数	1,771名 (10.5%)	(10.0%)
計	15,481名 (92.4%)	(90.9%)

○不受診事業者数 1,267名 (7.6%) (9.1%)

◆受診率は前年より1.5ポイント増。

○延べ受診事業者数 18,907名

○このうち再診・再検査等が必要となった事業者数 4,564名 (24.1%) (25.0%)

○このうち再診・再検査を受けた事業者数 2,050名 (44.9%) (37.9%)

◆再診再検査になる割合は前年より0.9ポイント減少。

実際に再診再検査を受診した事業者は7ポイント増。

○健康診断を受診している事業者の平均受診回数

平成22年	平成21年
(延べ受診事業者数÷受診事業者数)	1.22回 1.21回

○健康診断不受診事業者の年齢構成

年齢	全事業者数	不受診者数	うち代務中・ 休止中	不受診率
65歳以上	6,270名	89名	(14名)	1.4%
60～64歳	4,812名	349名	(11名)	7.3%
55～59歳	2,511名	277名	(6名)	11.0%
50～54歳	1,309名	227名	(2名)	17.3%
45～49歳	1,010名	184名		18.2%
40～44歳	631名	116名		18.4%
39歳以下	205名	25名		12.2%
計	16,748名	1,267名	(33名)	

◆若年層の不受診率が高い。

## 2. 平成22年12月31日現在の傷病状況

事業者傷病系統	事業を休止中 (1ヵ月以上)	代務者雇用中	合計
脳神経系	14名	13名	27名
眼・耳・鼻・咽喉	8名	5名	13名
呼吸器系	14名	4名	18名
循環器系	14名	12名	26名
消化器系	16名	14名	30名
骨・関節	18名	15名	33名
その他	14名	5名	19名
計	98名	68名	166名

◆昨年同期は合計192名で、本年はマイナス26名

## 3. 再診・再検査受診率の問題点について

平成21年の調査では、個人情報の問題等により個々の診断結果の内容が把握できているか尋ねたところ、8割以上の団体が把握していると回答されたが、再診・再検査を受けた人の割合は前年よりも減少したことから、再診・再検査を受診させることについて難しい点はどこか尋ね、主な理由を2つまで回答願った。

- (1) 再検査になった事柄が、軽いもの(急を要していない)と思ひ込み行かない。  
あるいは、毎年のことだから大丈夫と思って行かない。  
.....34団体 (23.3%)
  - (2) 団体としても再検査を受診したかまでは追いかけていない。  
.....32団体 (22.0%)
  - (3) 団体主催で一斉にやるわけではないので、個別だとなかなか受けに行かない。また、指導も行き届かない。  
.....31団体 (21.2%)
  - (4) 健康診断の内容が個人情報により把握できないので再検査の指導ができない。  
.....20団体 (13.7%)
  - (5) 再検査には助成がない。  
.....17団体 (11.6%)
  - (6) 期限更新等の必要な時だけ受診している状況なので、再検査までは受けない。  
.....2団体 (0.1%)
  - (7) その他  
.....9団体 (0.6%)
- 治療中だが、再検査要と記入されてしまう。
  - 指導はしているが、結果報告は出てこないのが現状である。
  - 再検査を強要することはできない。等

## 行政処分状況

平成23年2月分

処分日時	処分内容	違反条項	違反概要	点数
2月8日	車両停止 (53日車)	運輸規則第25条	運転日報	6点
2月24日	車両停止 (65日車)	運輸規則第25条	運転日報	7点

ご冥福をお祈り申し上げます

氏名	所属団体	享年	病名
鈴木正實	(東個協・北第二)	64歳	腸癌
柴田幸彦	(東個協・渋谷)	63歳	心不全
北 雅典	(東個協・杉並)	67歳	肺癌
小野寺輝正	(東個協・墨東)	72歳	心不全
高木久雄	(東個協・豊島)	68歳	リンパ腫
岡 与志郎	(東個協・野方)	63歳	心不全
久保ノ谷敏明	(都管協・江東)	49歳	脳出血
石橋 守	(都管協・千住)	66歳	心不全
武井文男	(都管協・自交総連)	56歳	不明
和氣 昭	(都管協・東京旅客)	73歳	心筋梗塞

計 報

\* 2 月

## 地理モニター報告①

昨年10月から開始された「地理モニター制度」。

新しい道路、橋、名称変更のあった施設名等の情報収集を地理モニター調査員が行い、随時協会へ報告する制度です。  
協会では、収集された情報の内容を精査し、今号より会報に掲載することにいたしました。

### 名称変更

旧名称	新名称	所在地	変更日
水野病院	水野記念病院	足立区西新井 6-32-10	平成 21 年 11 月
市川第二病院	羽田共生病院	大田区羽田 4-14-1	平成 22 年 4 月
東京社会保険事務局	日本年金機構 南関東ブロック本部	新宿区大久保 2-12-1	平成 22 年 1 月
国立国際医療センター	国立国際医療研究センター	新宿区戸山 1-21-1	平成 22 年 4 月
東横学園女子短期大学	東京都市大学等々力キャンパス	世田谷区等々力 8-9-18	平成 21 年 4 月
キャピトル東急ホテル	ザ・キャピトル東急ホテル	千代田区永田町 2-10-3	平成 22 年 10 月
久保田病院	久保田クリニック	豊島区西巣鴨 3-19-3	平成 22 年 4 月
慈生会病院	東京病院	中野区江古田 3-15-2	平成 22 年 4 月
旭出養護学校	旭出学園	練馬区東大泉 7-12-16	平成 22 年 4 月
ウェルサンピア多摩	桜美林大学 多摩アカデミーヒルズ	多摩市落合 2-31-1	平成 22 年 5 月

### 新施設

名称	概要	所在地	開始日
文化総合センター大和田	文化、教育、健康、福祉の区民活動の拠点として、多様な文化活動の発表、鑑賞、参加の場を提供する施設。	渋谷区桜丘町 23-21	平成 22 年 11 月

### 移転

名称	新所在地	旧所在地	移転日
千住消防署	足立区千住中居町 9-14	足立区千住 1-3-9	平成 22 年 2 月
荒川区南千住区民事務所（東部区民事務所と西部区民事務所が統合）	荒川区南千住 7-1-1	東部：南千住 3-20-6 西部：南千住 1-19-13	平成 22 年 3 月
板橋区清水図書館	板橋区泉町 16-16	板橋区宮本町 62-19	平成 22 年 1 月
東京国道事務所金杉橋出張所	品川区八潮 1-1-3	港区芝 2-2-10	平成 22 年 3 月
タイ王国大使館	千代田区九段南 2-2-1	品川区上大崎 3-14-6	平成 22 年 7 月 建替えによる約 2 年間の移転
港都税事務所	港区麻布台 3-5-6	港区芝 5-36-5	平成 22 年 1 月
西麻布福社会館	港区西麻布 2-2-2	港区西麻布 2-13-3	平成 21 年 10 月 建替えによる約 3 年間の移転
大韓民国大使館	新宿区四谷 4-4-10	港区南麻布 1-2-5	平成 22 年 4 月 建替えによる約 3 年間の移転

### 地理モニター報告②

#### 名称変更並びに移転

旧名称	新名称	変更日	旧所在地	新所在地	移転日
大和病院	中央総合病院	平成 21 年 11 月	板橋区本町 36-3	北区東十条 3-2-11	平成 21 年 11 月
(財)東京しごと財団 心身障害者職能 開発センター	(財)東京しごと財団 障害者就業支援課	平成 22 年 4 月	新宿戸山 3-17-2	千代田区飯田橋 3-10-3	平成 22 年 9 月

#### 道路・橋等

名称	概要	変更日
渋谷区中央図書館	同一敷地内の別の場所に移転し、新たな図書館へは、原宿警察署の横から車で入り、入り口まで着けるようになった。ただし通り抜けは出来ず、切り替えUターンが必要。	平成 22 年 5 月
和光富士見バイパス	埼玉県和光市の松ノ木島交差点（東京外環自動車道 和光北 IC）から埼玉県富士見市の下南畑交差点（富士見川越バイパス）までの国道 254 号のバイパス道路において、平成 22 年 4 月 24 日、松ノ木島交差点～埼玉県道 79 号朝霞蕨線までの一部が開通した。	平成 22 年 4 月

#### 事業者研修会の開催延期について

会報3月号にて、平成23年12月1日更新者の事業者研修会日程（平成23年5月～7月）をお知らせいたしましたが、会場である九段会館の一部が崩壊し使用

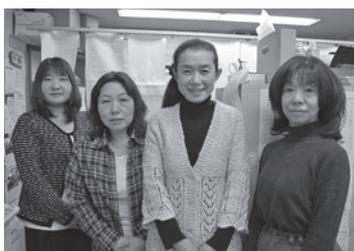
不可能なため、別会場での開催を検討中です。日程等が決まりしだい改めてお知らせいたします。



勉強会参加者は支部の若返りのカギを握る人達



281名が所属し、積極的に勉強会も行っている新宿支部



事務員のみなさん



前列左から伊原副支部長、本橋支部長  
後列左から田村共済部長、松本厚生・無線部長

## 東京ぐるり支部紹介 ● 第32回 ●

東京都個人タクシー協同組合 新宿支部  
(所在地：新宿区百人町)

### 先駆者に対する誇りを胸に 目指すのはプロの事業者集団

新宿支部は、全個協の先々代会長でマスターズ制度を立ち上げた本間嗣治氏ゆかりの支部。その伝統は今も息つき、新人には「自分達は優秀な格者で当たり前。その上でプロの誇りと、事業者の心構えを身に付けてもらうように働きかけています」と語る本橋支部長もまだ53歳。「あと20年はこの業界に居ますので、しっかりと基礎を作りたい」と将来を見据えて支部運営に当たります。

その思いは日常業務にも表われ、例えば支部報は理事会開催から10日以内に発行し、支部員に発送することで情報を素早く共有。譲渡譲受100%を維持して若返りを図る一方で、本間氏の思いは281名の支部員にしっかりと受け継がれていきます。

### なんでもトピックス

地域のおすすめスポットやクラブ活動、名物ドライバーなどなんでもご紹介

### 英会話クラブがスタート

今年、小川光彪さんが中心となって「英会話クラブ」が発足。小川さん自身、外国人観光客に対応しようと、5年前から英会話を学んでいました。目指すは、支部はもちろん個人タクシー全体のレベルアップです。

